

## エピソード58

テストの点をとっても  
気にする保護者と出会いました。



なみちゃん

小学校教師として25年以上の経験  
があります。エデュサポネットのファ  
シリテーターです。



小学校で学級担任をしている先生の経験を紹介します。

僕が20代頃、担任する学級に、都市部の学校からひろこさんが転校してきました。

ひろこさんのお母さんが「いずれまた、都市部の学校に戻ります。その時に困らないように、テストの点が取れるような学力をつけてください。」と言ったのです。





先生は、保護者のその言葉を  
どのように受け止めたのですか。

この保護者は、テストで高い点数を  
取ることが「学力」と捉えて  
いるのだなと思いました。





先生は、「学力」をどのように  
捉えていたのですか。

式を書いて答えを出すだけだったら、  
訓練すればできるようになる。

でも僕が大事にしたかったのは、  
問題を解くのに、子ども同士が  
かかわり合い、学び合うことなんです。





先生は、この保護者の言葉に  
どのように対応したのですか。

保護者と僕の考え方にズレがある  
と思い、困ってしまいました。

それで、先輩の先生に相談しました。





先輩の先生は、どのような  
アドバイスをしてくれましたか。

僕がいつも実践している授業の様子を、  
参観日に見てもらおうといいよ。

子どもたちが、互いに学び合う様子を見れば、  
保護者も安心するんじゃないかな、  
とアドバイスしてくれました。







先生は、そのアドバイスを  
実践したのですね。

はい、参観日には、普段以上に  
子どもたちが学び合える授業を目指して  
授業計画を立てて実践しました。





その後、ひろこさんや保護者の  
様子に変化はありましたか。

ひろこさんは、もともと力のある  
お子さんです。普段の授業でも  
活発に活動していました。

そんなひろこさんの様子を見て、  
お母さんも安心されたようでした。







先生は、この経験から  
どんなことを感じましたか。

保護者と考え方が違うとき、  
こちらの考え方を理解してもらう  
ことが、難しい場合があります。

そんなとき、子どもの姿を通して理解  
してもらう方法は、説得力が  
あるのだなと思いました。





## なみちゃんの一言

- 保護者は、子どもが生き生きと活動している様子を見ることで、子どもの成長を見取り、安心するものなのですね。
- そんな子どもの姿を、授業や行事を通して見ていただくことは、どんな言葉にも勝る説得力があるのかもしれない。

お・し・ま・い



イラスト 尾上樹里  
(北海道教育大学 大学院生)